

## 論文特集「2013年度全国大会速報論文」にあたって

大和田 勇人

(東京理科大学)

本論文特集は、2013年6月4～7日に富山市で開催された2013年度人工知能学会全国大会 (JSAI 2013) からの推薦に基づく全国大会速報論文の特集である。

全国大会速報論文特集号はJSAI 2009から始まった試みで、JSAI 2013における今回の企画は5回目となる。論文採録は以下の手順で決定される。まず、全国大会の発表申込時に、発表者自身が推薦論文への応募を申請する。各論文は2名の評価者により評点が付けられ、大会終了後に評価担当プログラム委員会の審議を経て、速報論文としての推薦の可否が決定される。評価者のコメントは著者にフィードバックされる。次に、学会の編集委員会において、大会委員を中心に全国大会速報論文特集号編集委員会が設置され、著者から投稿された論文について、通常の速報論文と同じ手順で査読を行う。

今回の全国大会では、推薦論文としての発表申込みが56件あり、推薦評価を経て14件の論文が推薦された。そのうち12件から投稿があり、編集委員会での厳正な査読を経て、最終的に以下の4編の論文 (著者名は省略) が採録された。

- エゴセントリックネットワークと形式概念分析を利用した社会ネットワーク分析
- LMNtal 並列モデル検査における状態生成数削減および高速化
- アナロジーを組み込んだルール発想推論によるスキル獲得支援
- 機械学習による創薬支援のための高精度バーチャルスクリーニング法の開発

これらの論文は、人工知能学会論文誌, Vol. 29, No. 1 (2014) としてJ-STAGEで公開される予定である ([https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tjsai/29/1/\\_contents/~char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tjsai/29/1/_contents/~char/ja/))。

なお、照会中の論文については、一般論文として3月号に掲載する予定である。

ここ1～2年で人工知能学会全国大会の発表件数は急激に増加しており、オーガナイズドセッションや近未来チャレンジなど多彩な企画も多い。今回採録された論文の分野が、人工知能の基礎に関わるものから境界領域に位置するものまで多岐にわたることは、そのまま全国大会の活気を伝えるものといえる。通常の特集号とは一味違ったダイナミックな企画として会員の皆様に目を通していただければ幸いである。

最後に、推薦論文に応募していただいた著者の方々、評価担当の皆様から感謝の意を表するとともに、長期にわたる編集作業に熱意をもって取り組んでいただいた本速報論文特集号の編集委員会のメンバにも感謝したい。

### 【2013年度全国大会速報論文特集号 編集委員会】

編集委員長：大和田勇人 (東京理科大学)

副編集委員長：鷺尾隆 (大阪大学)

編集委員：佐藤敦 (NEC)

塚田元 (NTT)

加藤昇平 (名古屋工業大学)

瀧川一学 (北海道大学)

服部宏充 (京都大学)

大原剛三 (青山学院大学)